

蓄熱建材コンソーシアムの設立について

蓄熱建材コンソーシアム

東京大学、一般財団法人建材試験センター、永大産業株式会社、株式会社カネカ、J S R株式会社、J Xエネルギー株式会社、住化プラスチック株式会社、住友化学株式会社、大建工業株式会社、D I C株式会社、三木理研工業株式会社、三菱樹脂インフラテック株式会社、菱星システム株式会社が、蓄熱建材の普及・発展を推進する為に蓄熱建材コンソーシアム（以下「本コンソーシアム」）を2016年9月23日に設立しました。

近年、住宅・建築物において構造や工法、建材等の工夫によって高气密化・高断熱化が進むとともに、より少ないエネルギーで冷暖房を行うことや、日射熱などの再生可能エネルギーの活用が求められています。本コンソーシアムは、そのような環境下で蓄熱建材が住宅・建築分野における省エネルギーの促進と、温熱環境向上による快適な暮らしに寄与する為に、その性能および効果を正しく予測・評価する方法を2019年までの確立を目指します。

【本コンソーシアムの活動内容】

以下の3ワーキンググループでの活動を行います。

① 評価法標準化ワーキンググループ

蓄熱材料ではなく蓄熱建材としての性能評価手法を確立し、定量的かつ公平に蓄熱建材の蓄熱性能を評価できるようにします。最終的には2019年度中の評価手法J I S化などの標準化を目指すとともに、シミュレーションワーキンググループと連携しながら、シミュレーションに組み入れられるようなデータ測定も考慮して評価手法を確立していきます。

② 温熱環境評価シミュレーションワーキンググループ

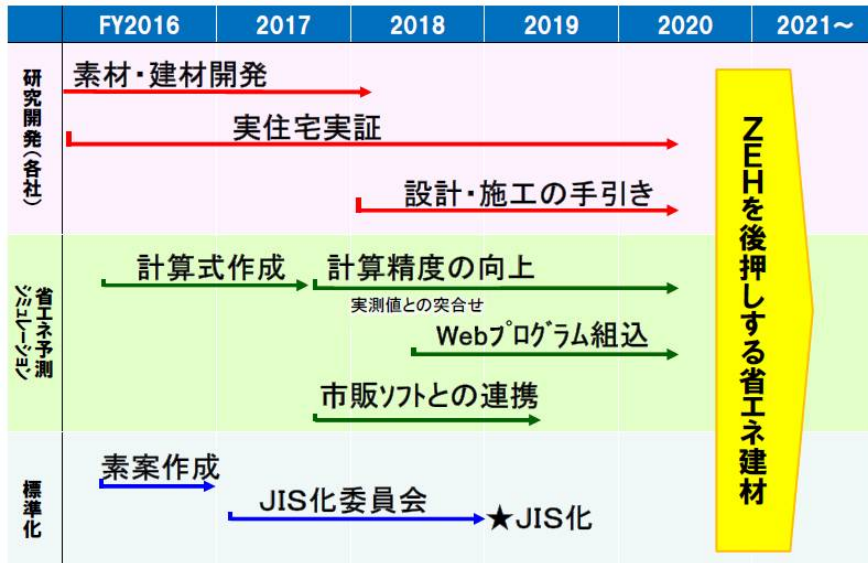
蓄熱建材の効果を定量化するためには、様々な建物性能、外界条件、住まい方等を考慮する必要があり、そのためには数値シミュレーションツールが必須と考えます。本WGでは評価法標準化WGと連携し、室内温熱環境や暖冷房消費エネルギーを精度良く計算できるソフトウェアの開発をします。

③ 普及広報ワーキンググループ

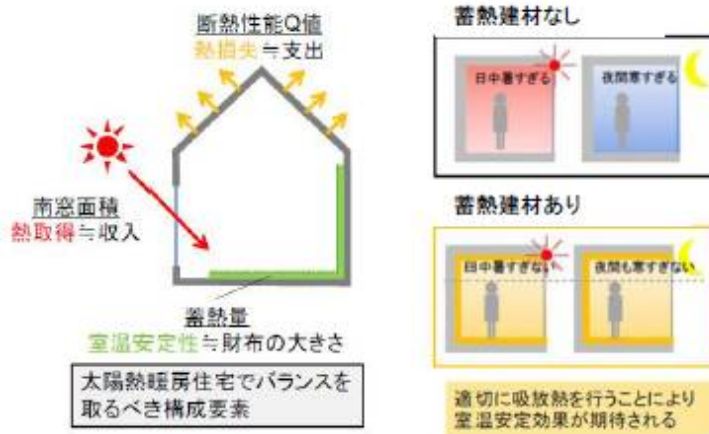
蓄熱建材は日本ではまだ一般的に知られていません。蓄熱建材の効果である室温の安定は快適性の向上に繋がり、省エネ面では断熱・気密の次の技術として期待されています。この蓄熱建材が社会で役立てられるように普及に努めます。まずは、来月11/16に東京大学で第1回蓄熱建材シンポジウムを開催します。その後、順次講演会や各地でのシンポジウムも計画していきます。

【スケジュール】

2020年度、ZEH促進建材となる



【蓄熱建材イメージ】



窓や壁の性能が大きく向上したことで、蓄熱建材があれば日中暑すぎない、夜間も寒すぎない部屋の環境を作り出すことができます。



【各団体の概要】

東京大学（東京都文京区本郷7-3-1）

一般財団法人建材試験センター（東京都中央区日本橋堀留町2-8-4 日本橋コアビル）

永大産業株式会社（大阪府大阪市住之江区平林南2-10-60）

株式会社カネカ（大阪府大阪市北区中之島2-3-18）

J S R株式会社（東京都港区東新橋一丁目9番2号汐留住友ビル）

J Xエネルギー株式会社（東京都千代田区大手町一丁目1番2号）

住化プラスチック株式会社（東京都中央区日本橋小網町1-8）

住友化学株式会社（東京都中央区新川2丁目27番1号 東京住友ツインビル（東館））

大建工業株式会社（大阪府大阪市北区堂島1丁目6番20号）

D I C株式会社（東京都中央区日本橋3-7-20）

三木理研工業株式会社（和歌山県和歌山市栄谷13の1）

三菱樹脂インフラテック株式会社（東京都中央区日本橋本石町1-2-2三菱樹脂ビル）

菱星システム株式会社（兵庫県尼崎市東向島西之町8番地）

【特別会員・役員の紹介】

特別会員：前 真之（東京大学）

特別会員：佐伯 智寛（一般財団法人建材試験センター）

代表理事：清田 健（J Xエネルギー株式会社）

副代表理事・事務局長：野末 佳伸（住友化学株式会社）

理事：佐藤 友紀（大建工業株式会社）

理事：藤崎 健一（D I C株式会社）

理事：横山 昌弘（三菱樹脂インフラテック株式会社）

【本件にかかわる問合せ先】

蓄熱建材コンソーシアム事務局

広報担当：横山（050-3171-1426）

URL：<http://pcmconso.jp/>